



一つ一つのことばや動作に思いをこめて ～春風・人権発表会～

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言が発令され、保護者や地域の皆さんに見ていただくことはできませんでしたが、2月4日（木）に4・5年生に向けて、6年生による春風・人権発表会を行いました。

今年度は、6年生全員参加で、9月より人権学習を進めてきました。人権学習の中で学んだ人々の生きざまを劇で表現して伝えよう、人権学習で学んだことを自分の生活にどう活かしていくのかということを考え伝えようと取り組んできました。春川政信先生や細田哲子先生の話の聞いたり、色々な資料からも学習を進めてきました。そして、11月には、奈良県の水平社博物館に見学に行ったり、その地をフィールドワークし、当時の人々の思いを肌で感じたりすることができました。登場人物になりきって話すセリフ、しぐさ一つ一つから、思いを伝えようと、休み時間も削って練習に取り組んできました。

「水平社運動」に携わった人々の生き方を学ぶことにより、子ども達が当時の人々の思いにせまり、そこから自分のことを考える良いきっかけとなりました。差別のおかしさや、差別に負けない強い思いと行動力、自分のことだけでなく子どもたちのことを考えて行動したこと、人としての温かさやつながりがいかに大切であるかを、身をもって感じる事ができたと思います。幕の開け閉め、照明の点灯・消灯など、裏方の役割も分担し、お互いを思いやり、協力することの大切さを感じながら、仲間と共に劇を創り上げていきました。その経験は、子ども達の一生の財産になったと思います。最後の一人ひとりのことばは、これからの自分の生き方を示す宣言文です。人権学習や劇で演じて得たものを、自分の生き方に照らして、活かしていくことを期待しています。

4・5年生も6年生の思いをしっかり受け止めて、感想を言ったり書いたりできていました。子ども達にとっての本当の人権学習の場は、毎日の生活の中にたくさんあります。今後とも、家庭、地域の中で子ども達が人を大切に、より正しく温かく生活していくことができるよう、ご指導をよろしくお願いいたします。

